

自閉スペクトラム症からのサイン

行動の裏側をどう“見る・観る・診る”？

社会的なコミュニケーションの困難さや、空間・人・特定の行動に対する強いこだわりがあるなどの特性がみられる自閉スペクトラム症(ASD)。ASDをはじめとする神経発達症は、その特性が「脳の多様性」によるため、可視化が難しく周囲から理解されにくいことが多くあります。そのことで生きづらさを感じる当事者も少なくありません。本フォーラムでは、当事者の声に耳を傾けて必要な支援を考えるとともに、専門家や支援者から、支援の現状、アセスメントの重要性、可視化の方法など、最新の情報を提供していただきます。

講演やシンポジウムを通して、誰もが生きやすい社会の実現のために、当事者、支援者、医師・研究者が参加者のみなさんとともに、ASDについて考えていきます。

日時

2024年11月10日(日)

開場：正午 開演：午後1時
終演：午後4時(予定)

会場

大阪大学中之島センター

大阪市北区中之島4-3-53

- JR大阪駅より徒歩約18分 阪神本線福島駅より徒歩約9分
京阪中之島線 中之島駅より徒歩約5分
- バスによるアクセス等、詳細は大阪大学中之島センターホームページでご確認ください。



会場参加型・無料・定員400名

※ライブ配信・アーカイブ配信の予定はありません

プログラムと出演者

講演・対談

日詰正文

国立重度知的障害者総合施設のぞみの園研究部 部長
言語聴覚士／日本発達障害ネットワーク事務局長

土屋賢治

浜松医科大学 子どものこころの発達研究センター 特任教授
精神科医

対談テーマ

サインをどう捉える？
～神経発達症・見える化への試み～

シンポジウム

「このサインに気付いてえな。」

パネリスト

当事者
広野ゆい
西山祐介

NPO法人DDAC(発達障害をもつ大人の会)代表
<ADHD / ASD>
シンガーソングライター
<ASD / ADHD / LD>

支援者
長富義孝
片山泰一
日詰正文

自閉症児支援センター wave 施設長
大阪大学大学院・連合小児発達学研究所 教授
一般社団法人大阪自閉スペクトラム症協会 会長
土屋賢治

※出演者に変更が生じた場合は、NHK厚生文化事業団のホームページでお知らせします。

参加申し込み

ウェブ

●NHK厚生文化事業団のウェブサイトから
<https://www.npwo.or.jp/info/30583>



はがき

- (1)お名前・ふりがな (2)郵便番号・住所
- (3)電話番号 (4)メールアドレス(ある方のみ)
- (5)参加人数(最大4名まで) (6)同行者名
- (7)同行者の住所が異なる場合は、同行者の郵便番号・住所・電話番号・メールアドレス(ある方のみ)をご記入のうえ、下記までお送りください。
- (8)個別の対応が必要な場合など連絡事項がある場合はご記入ください。

▶宛先：NHK厚生文化事業団

「大阪・自閉症フォーラム」係

〒150-0041 東京都渋谷区神南1-4-1 第七共同ビル

締め切り

はがき ■11月1日(金)必着
ウェブサイト ■11月8日(金)午後5時

※先着順に受け付け、定員に達し次第締め切ります。

▶参加者には、個別の入場者ID番号等が入った「参加証」をメールでお送りします。当日、受け付けで画面がプリントアウトしたものをご提示ください。メールの無い方には、封書で入場整理券を郵送します。

※同行者の住所が異なる場合は、それぞれの住所へ郵送します。

※個人情報適切に管理し、本フォーラムについての連絡のみに使用いたします。

お問い合わせ

NHK厚生文化事業団
「大阪・自閉症フォーラム」係

電話 03-3476-5955 (平日 午前10時～午後5時)

メール nhkh15@npwo.or.jp ※件名に「大阪・自閉症フォーラム」と入れてお問い合わせください。